

聖心女子大学  
2026年度 総合型選抜（英語外部試験利用方式）小論文  
解答と講評

【解答】

問1

- |              |            |          |
|--------------|------------|----------|
| (1)ちかん（おきかえ） | (2)依然      | (3)形態    |
| (4)指針        | (5)象徴      | (6)しょうよう |
| (7)間隔        | (8)ぜんだいみもん | (9)誤解    |
| (10)うかが      |            |          |

問2

- (ア) ②            (イ) ④            (ウ) ③            (エ) ②

問3

1. ○    2. ×    3. ×    4. ○    5. ×    6. ○

問4（下記の講評を参照）

【講評】

「ひのえうま」についての迷信についての情報が、1960年代に日本社会にどのような影響を与えたかについての資料です。

問1は基本的な漢字の読み書きについての問題です。(10)については「うかがえる」と送り仮名まで記しているものも正解にしています。

問2は資料の内容を読み解きながら、前後関係の理解ができているかを問う問題です。

問3は資料の内容が正しく読解できているかを問う問題です。本文全体を読み中長期的な影響を理解する必要があるだけでなく、図の情報も分析しながら回答し、数学的に考える能力についても問う問題が含まれています。

問4は情報と社会の関係について、資料の内容を踏まえながら個人的な意見に留まらず、客観的に物事を俯瞰して見ることができ、論拠を示しながら論述するスキルを問う問題です。また一時的なデータにとらわれず、社会問題を中長期的に見るという視点や、実際に言われている問題（ここでは少子高齢化）という問題は表面的なことで、実際には出生率が増加していたことについてデータを分析して自分の力で読み取ることも重要です。資料では、一つの情報を鵜呑みにするのではなく、様々な情報や他の論拠と付き合わせて客観的に考察することの重要性が述べられていますので、その趣旨を理解したうえで、情報と向き合う際に必要なことについて論拠を挙げながら論じることが求められています。